



部活動の地域移行 実証事業

令和6年度の実証事業まとめ

玉野市

01

本年度の取組

	当初予定	成果
運営団体 指導者	①玉野地域クラブの設立、規約作成 ②地域クラブの認定実施 ③指導者資格の取得推進	①検討中 ②検討中 ③検討中
活動の充実	④学校部活動にない種目の検討	④検討中 ※令和5年度：学校部活動にない、『書道』を実施した。
活動場所 用具	⑤学校施設開放を利用し、教員の立ち合いなしに認定地域クラブによる校舎内開錠 ⑥継続的な利用を前提とした拠点施設、使用用具の決定	⑤学校開放事業を活用して、鍵管理人制度による体育館の鍵を貸出し、単独で施錠管理を行った。 ⑥検討中：活動可能な学校を検討するために、複数校で実施した。
運営資金 参加費支援	⑦継続的な運営に必要な受益者負担額と公的資金額の算出 ⑧経済的困窮世帯への支援スキーム検討 ⑨財源(企業版ふるさと納税など)の検討	⑦検討中 ⑧検討中：就学援助制度を活用。 ⑨検討中：期間限定での市補助金の投入。
参加対象 広報	⑩単発の取組ではなく、週1回の継続的な活動となることを周知 ⑪休日の学校部活動を廃止することを周知、令和7年度試行地域クラブへの参加促進	⑩計画中：1月に陸上競技。 ※令和5年度：陸上競技を12月から7週連続で開催した。 ⑪検討中 ※令和5年度：11月に保護者に向けて、文書発出。小学5・6年生、中学1・2年生に担任から説明。広報たまの2月号に掲載。玉野市公式HPに掲載。
生徒輸送	⑫生徒の移動手段の検討(生徒が各自で参加できる場所を検討)	⑫検討中：地域クラブ活動は、他の習い事と同様に自転車・自家用車による自力での移動を原則とする。講師派遣型の採用。

02 地域スポーツ・文化技術環境の把握

学校部活動の現状

設置している学校部活動	
運動部	文化部
軟式野球	吹奏楽
卓球	美術
ソフトテニス	茶道
バスケットボール	ボランティア
バレーボール	総合文化
サッカー	DUCデジタル
陸上競技	

団体・指導者のリソース

競技・分野名	団体名	活動場所	活動頻度	活動時間	活動費(参加費)
卓球	玉野スポーツネットワークJV (総合型SC)	レクレセンター	火	19:00～ 20:30	8,250円 ／4ヶ月
卓球	みやまスポーツクラブ (総合型SC)	玉野スポーツセンター	水	19:00～ 20:30	4,200円 ／3ヶ月
ナイター ソフトテニス	玉野スポーツネットワークJV (総合型SC)	玉野市民総合運動公園	金	20:00～ 22:00	7,920円 ／4ヶ月
バスケットボール	CROSSLINK	火:山田中 木:宇野中	火・木	19:30～ 21:00	5,000円 ／月
陸上競技	みやまスポーツクラブ (総合型SC)	玉野スポーツセンター	火	18:30～ 19:30	7,000円 ／3ヶ月

03 利用可能な活動場所の把握と確保

利用可能施設一覧

学校施設

宇野中学校	荘内中学校
玉中学校	八浜中学校
日比中学校	東児中学校
山田中学校	

スポーツ施設

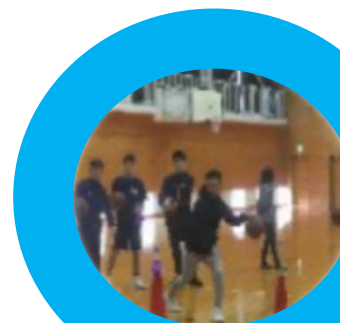
玉野スポーツセンター
玉野市総合体育館
玉野市民総合運動公園
・日比精錬スタジアム(野球場)
・テニスコート
・多目的運動場 など

文化芸術施設

中央公民館(ショッピングセンターメルカ内)

活動場所の確保

学校開放事業を活用



体育館の単独使用が可能に



鍵管理人から指導者が直接
受け取る(教員の立ち会いなし)

05

移動手段の検討と確保

検討中

自転車・自家用車による自力での移動

整理

地域クラブ活動＝他の習い事と同様

背景

バス輸送は、持続可能性の観点から困難

複数の学校へ講師を派遣

講師

講師

講師



A中学校
陸上競技



B中学校
陸上競技



C中学校
陸上競技

バス等での輸送

整理

一箇所での開催時：学区外の生徒のみ

背景

民間バス等の調整が必要



D中学校
軟式野球

新たな活動

書道

- ・文化芸術系分野の開拓
- ・書に触れる機会づくり
- ・書き初め展 指導

学校部活動には
ない活動

07

準備状況に関する広報・連絡

Google classroom



Google フォーム(申込)

チラシ



広報 たまの

広報

保護者

生徒

市民

広報誌 『広報 たまの』

チ ラ シ

Google classroom

文書通知

連絡

・参加申込

チラシの二次元コード

Google classroom

Google フォーム(申込)

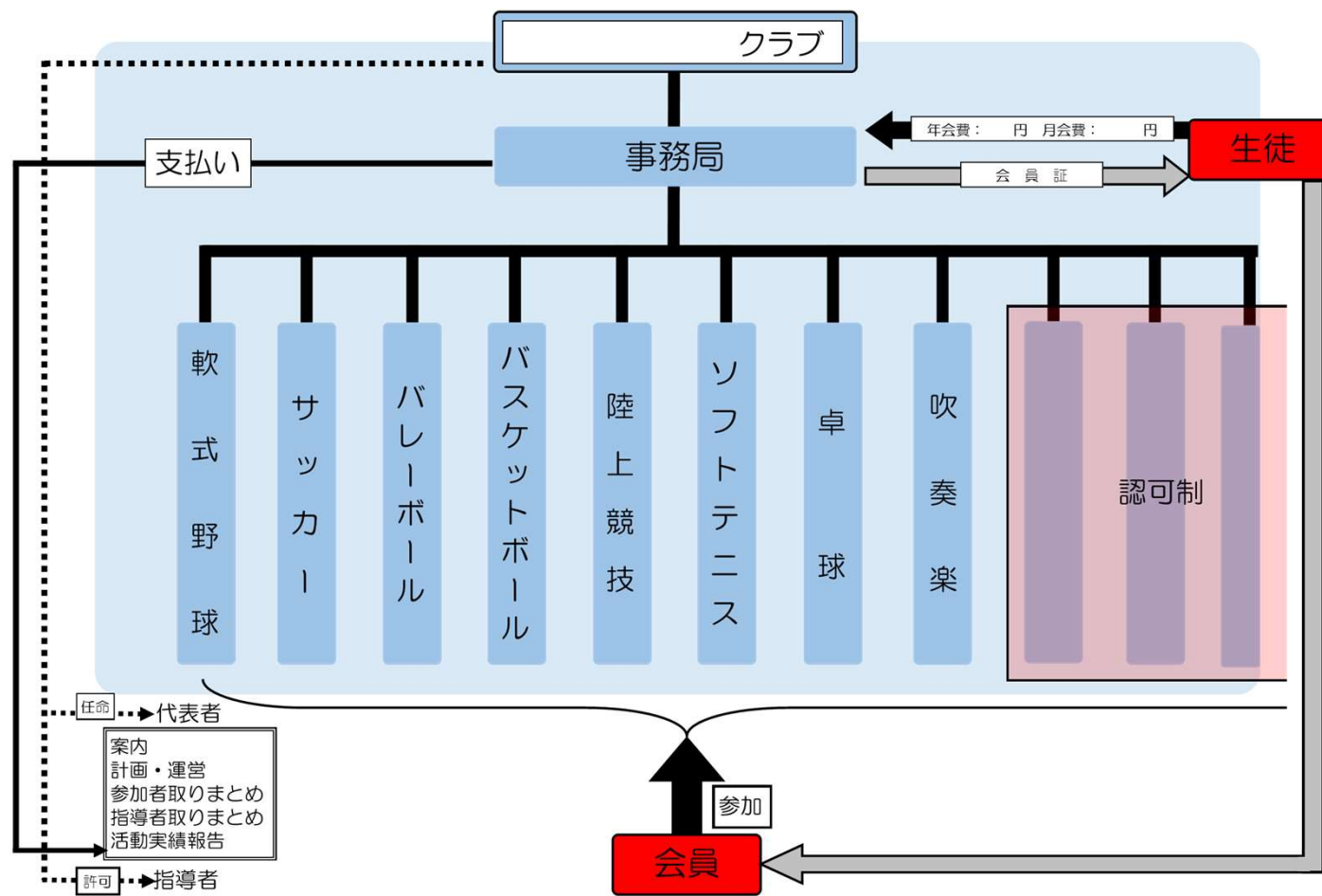
・連絡

電 話

Gmail

調整中

令和8年度



10 運営資金の調達・活用の検討・確保

バスケットボールで算出した場合

経費

参加人数

年間参加費

約700,000円/年 ÷ 約60人 ≒ 約11,600円

謝金 @1,600円×3時間×4日×12ヵ月×3人=691,200円

令和6年度 部員の60%

月あたり

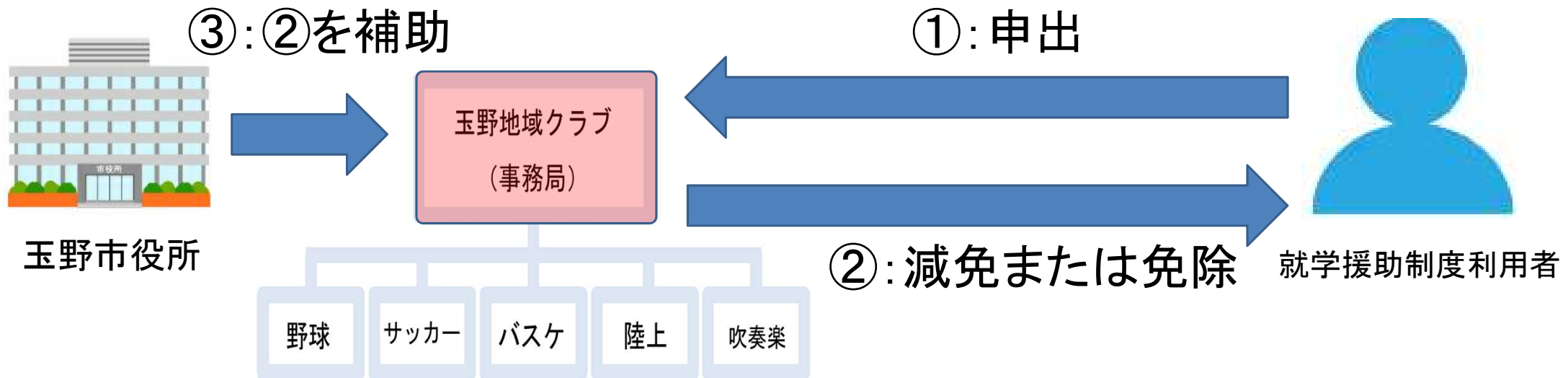
受益者負担額 約1,000円/月
約3,000円/年(スポーツ安全保険、アプリ使用料等)

※持続可能にするために運営経費は基本的に受益者負担で賄う
※期間を設けて、一時的に玉野市から玉野地域クラブに補助金を検討

約1,000円

就学援助制度利用者に対して、補助を検討

例



14 大会・コンクールへの参加機会確保

吹奏楽

発表の場を確保

発表

- ショッピングモールメルカでの演奏
- 他団体から演奏依頼を受けての発表
- 活動を周知してもらう機会としても活用

